



## 【発行】

偕行会リハビリテーション病院

地域医療連携室

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3892 FAX 0567-52-3907



3月1日に、偕行会リハビリテーション病院に赴任してきました。

私の趣味の1つに読書があります。今回読んだ本ですが「70歳死亡法案、可決」、この本意外にリアル！？が感想です。

主人公は、一人の専業主婦“東 洋子”。彼女は、自分の時間は全く作れないまま。義母の介護に明け暮れ、義母のわがままに翻弄されています。頼りにしたい旦那は、70歳になるまでの人生を計算し尽くし、早期退職を受け入れて、自分のことだけを考え、3ヶ月という長い旅に出してしまう。就職が上手くいかない息子はたよりにならない、愚痴に近い話が延々と続きます。前半のほとんどが義母の介護をする専業主婦の悲哀が描かれていて身につまされるが、家族介護の問題、国の社会保障制度の問題、新卒者の就職困難の問題など、身近にある現実の問題として考えさせられる作品でした。

中盤の山場は、現職総理大臣が、70歳以上の人は死ななくてはならないという法案を、諸外国から批判を浴びながらも2年後から施行すると強行採決したことです。70歳以上の人達は2年後には全員死ななくてはならない。榎山節考の世界が突然現れてしまいました。

お金を持っている人達は相続を考え、寄付を考え、2年間をどう過ごそうかと話し合います。今、赤字国債発行額がGDP200%まで積みあがった現在の日本政府の現状が裏打ちになって、この小説の中では、国が破綻しないようにと考えられたこの「70歳死亡法案」が各所で物議をかもし、若い人も含め国民の全てが国の在りようを真剣に考えるきっかけとなっていきます。

久し振りに現場で働く皆様方と協働できることで、新たな感動が沸いてきました。前任者よりいささか年配ですが、**Young at heart**で頑張ります。宜しくお願い申し上げます。

好きな言葉

感動（かんどう）・・・感じて動く

常問（とことん）・・・常に問いたです

考動（こうどう）・・・考えて動く



偕行会リハビリテーション病院

事務長 清原 義徳